

▽ 関係主体の役割



倉敷市地域公共交通網形成計画～概要版～

平成29年3月策定

▼計画の区域 倉敷市全域

▼計画の期間 平成29年度～平成33年度の5年間

▽ 理念

暮らしを支え 活気をつなぐ 倉敷の魅力を高める公共交通網

基本方針	基本目標	目標の達成に向けた事業の方向性
網 都市の骨格を形成する公共交通	1. 都市の骨格を形成する幹線交通の利便性を高める 2. 交通拠点の利便性を高める	幹線のサービス強化 交通結節点機能の強化
暮 市民に愛され 暮らしを支える公共交通	3. 誰もが安心して移動できる環境を提供する	暮らしを支える交通サービスの活性化 安定したサービス提供に向けた体制づくり 福祉支援としての公共交通サービスの提供とバリアフリー化推進
活 都市に豊かさ 活力を生み出す公共交通	4. 関係者や地域との協働による公共交通のサービス向上とP Rにより、選ばれる公共交通を実現する 5. 市街地への自家用車等の流入を抑制し歩いて楽しいまちづくりを実現する 6. 地域の財産である鉄道を活かしたまちづくりを実現する	過度な自家用車利用から公共交通への転換と利用しやすくなる環境の構築 公共交通を利用した移動しやすい環境の提供 鉄道のサービス向上と利用促進
魅 国内外からのニーズに応えたおもてなしの公共交通	7. 市民および来訪者が公共交通を快適に利用できる環境を提供し、市全体の魅力を高める 8. 観光客や市民の市内での周遊・交流を促進し、人々の交流を深める	公共交通を快適に利用できる環境づくり 観光客の二次交通の充実と情報発信

これからの倉敷市



都市の骨格を形成する公共交通

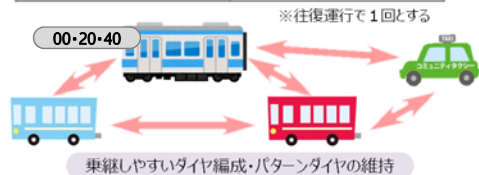
利便性・快適性の向上

市内交通の骨格として地域・地区間を結ぶ幹線のサービスを強化し、利便性や快適性の向上を図ります。

- (1) 利便性の高い運行時間帯、運行回数の確保
- (2) 利用しやすいダイヤの確保

参考 利便性の高い運行回数

朝（始発～10時台） 夕（16時台～20時台）	1時間あたり2回以上
その他の時間帯	1時間あたり1回以上
合計	1日あたり26回以上



倉敷駅の拠点性の向上

都市交通の円滑化と安全性や都市防災機能の向上を図るとともに、鉄道によって分断された南北市街地の一体化を促進し都市機能の強化を図ります。

- (1) J R山陽本線等倉敷駅付近連続立体交差事業
- (2) 鉄道高架化に合わせた利便性の高い駅前広場

市民に愛され暮らしを支える公共交通

コミュニティタクシーの普及・拡大

地域等が主体となって運営するコミュニティタクシーの普及や利用を促進し、誰もが安心して生活できる環境をつくります。

- (1) 出前講座やパンフレットなどによる普及促進
- (2) コミュニティタクシー運行エリアの拡大
- (3) コミュニティタクシーを導入しやすい制度づくり
- (4) コミュニティタクシーを利用しやすい環境づくり

参考 出前講座の開催



地域地区内交通の活性化

地域・地区内交通の活性化により、誰もが安心して生活できる環境をつくります。

- (1) 運行時間帯、運行回数の確保
- (2) 地域の生活関連施設における利用環境の向上
- (3) タクシーの活用

参考 子どもが単独で利用できる「おこさまタクシー」



交通拠点等の改善

公共交通機関相互のネットワークを繋ぐ「交通拠点」において、拠点の特性に応じた整備・改善を進め、公共交通の利便性を高めます。

- (1) 広域交通拠点の整備・改善
- (2) 交通拠点の整備・改善
- (3) 乗継拠点の整備・改善
- (4) 主要な停留所における待合環境の改善

参考 停留所の待合環境の改善



快適な走行環境の整備

路線バスの定時性を高め、中心市街地周辺での利便性向上を図ります。

- (1) 公共交通を優先する走行環境を整備

非常時・災害時における体制づくり

非常時・災害時に備えた、体制づくりにより、市民の暮らしを支える安定した公共交通を目指します。

- (1) 非常時・災害時における利用者への情報提供
- (2) 乗務員等の行動マニュアル作成

安定した担い手確保と育成

安定した担い手の確保・育成により、市民の暮らしを支える持続可能な公共交通を目指します。

- (1) 安定した担い手確保と育成

高齢者や障がい者などに対する支援

利用者負担の軽減や、サービスの周知を行い、高齢者や障がい者が安心して生活できる環境をつくります。

- (1) コミュニティタクシーの利用料金の割引
- (2) 高齢者を対象とした利用料金の割引
- (3) 障がい者を対象とした利用料金等の助成
- (4) 福祉有償運送の情報提供

参考 コミュニティタクシー利用者証



バリアフリー化の推進と情報提供

バリアフリー化の推進により、誰もが公共交通を利用しやすい環境をつくります。

- (1) バス車両のバリアフリー化
- (2) ニバーサルデザインタクシー車両の導入推進と利用促進
- (3) 駅舎や乗り継ぎ経路などのバリアフリー化と情報提供

都市に豊かさ活力を生み出す公共交通

公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造

まちなかでの移動のニーズに応えたサービスの提供や自家用車の流入抑制により、まちなかでの公共交通の利便性向上を図ります。

- (1) 中心市街地における公共交通の利便性向上
- (2) 路線バス運賃上限制度や乗り継ぎ割引
- (3) 事業者間連携による企画乗車券
- (4) パーク＆ライド駐車場の利用促進

参考 バスマップを活用した中心市街地の利便性向上



国内外からのニーズに応えたおもてなしの公共交通

わかりやすい情報の提供

おでかけの足として「使える公共交通」とするため、市民・来訪者にわかりやすく情報を提供します。

- (1) 公共交通マップ・総合時刻表の作成と配布
- (2) 情報案内板や経路案内の改善・整備
- (3) 公共交通の認知度向上
- (4) 案内所のサービス強化

参考 倉敷 おもてなし公共交通マップ



接遇やマナーの向上

乗務員等の接遇向上や利用者のマナー啓発により、誰もが気持ちよく利用できる環境をつくります。

- (1) 乗務員等の接遇向上
- (2) 利用者のマナー啓発

モビリティ・マネジメント等の推進

学校、地域企業等を対象としたモビリティ・マネジメント等の推進により、過度な自家用車利用から二酸化炭素排出量の少ない公共交通利用への転換を図ります。

- (1) 学校などを対象としたモビリティ・マネジメント
- (2) 事業所などを対象としたモビリティ・マネジメント
- (3) 利用促進キャンペーンの開催
- (4) 「おかやま愛カード」の普及推奨
- (5) 利用促進事業への助成

参考 バス教室



自転車等の利用環境の向上

鉄道や路線バスの利用圏を拡大する自転車等の利用環境向上により、公共交通利用者の拡大を図ります。

- (1) サイクル&ライド自転車駐車場の利用促進
- (2) 自転車駐車場を気持ちよく使うことができる環境整備

鉄道駅周辺環境の向上と沿線の活性化

地域住民や利用者との協働による鉄道駅や沿線周辺環境の活性化を進め、鉄道を活かしたまちづくりに取り組みます。

- (1) 駅周辺環境の向上
- (2) 沿線の魅力についての情報提供

鉄道の更なる認知度の向上

地域住民や利用者との協働により、より多くの人に愛され、また利用される鉄道を目指します。

- (1) 「愛される鉄道」への取り組み
- (2) 「使える鉄道」の情報提供

参考 地域住民や園児らに見守られて走行する「離れ列車」



タクシーを活用した観光客の二次交通の充実

タクシーを活用した観光二次交通の充実により、観光客の市内および周辺地域での周遊を促進します。

- (1) 観光タクシー乗務員の育成
- (2) 観光タクシーのモデルコース

観光モビリティ・マネジメント等の推進

公共交通の利用を促進するため、観光客向け、市民向けの情報提供を充実し、市内および周辺地域での周遊促進を図ります。

- (1) 観光客向けの情報提供
- (2) 市民向けの情報提供

参考 インターネット等を活用した情報発信



ICカード・バスロケーションシステムの導入と利用促進

ICカードやバスロケーションシステムなど、利便性の高いサービスを提供することで、公共交通を利用したくなる環境をつくります。

- (1) バスロケーションシステム導入
- (2) ICカードの利便性のPR
- (3) ICカード導入と活用の研究

参考 高校入学者に配布されるハレカードのちらし



参考 バスロケーションシステム

